

10月21日はあかりの日



エジソン

1879年（明治12年）10月21日はエジソンが白熱電球を完成させた日。あかりのありがたみを認識する日として1981年（昭和56年）に日本電気協会・日本電球工業会等が制定したそうです。いまでは、電気が当たり前のように使われていますが、あかりを開発するにはたくさんの苦勞があったようです。



あかりの歴史

人間の手によって生まれた光は、今から約2000年前の縄文時代に、木の枝や枯れ草などを燃やし闇夜を照らすあかりとして誕生しました。やがて油を石器や土器などに入れるオイルランプへと変化します。しかし、石油ランプの登場により、オイルランプの姿は消え去り、その後電気エネルギーの発見により、電球が登場します。ほんの120年前まで、光を出すには必ず火を燃やさなければなりませんでした。それを分離した革命家がエジソンです。



白熱電球を開発したのはエジソンじゃない!?

世界で最初に電球を発明したのはエジソンではありません。1879年2月、イギリスのスワンが炭素繊維条たんそせんじょうを使った白熱電球を発明しました。しかし、スワンの白熱電球は寿命が短すぎてだめでした。白熱電球を明るくするためにはフィラメントの温度をより高くする必要があります。そのためフィラメントがすぐに蒸発してなくなってしまいます。それを応用したのがエジソン。1879年10月21日エジソンが32才のときに、白熱電球は完成しました。それは木綿糸すずに煤とタールを混ぜ合せたものを塗布しこれを炭化してフィラメントにした電球でした。電灯といっても最初の頃の白熱電灯は45時間ほどしか寿命がありませんでした。しかし、広く家庭で使ってもらうには、安価でもっと長く灯り続ける電球でなくてはならないのです。それを解決するにはフィラメントを改良する事が最重要でした。そして、フィラメントの素材としてエジソンは色々なものを探し始めます。



京都とエジソン

エジソンはフィラメント材料を見つけるのに大変苦勞し、最初は木綿糸や何と友人のヒゲまでも素材として使ったのだそうです。6000種類にも及ぶいろんな材料を炭にして実験をしていましたが、ある日、偶然机の上にあった竹の扇子を見つけました。その竹をフィラメントに使ってみると、なんと200時間も灯ったのです。これだ！全世界へ20人の竹採りハンターたちが派遣されました。彼らは1200種もの竹を全世界から集め、1880年に一人の竹採りハンターが来日。時の首相伊藤博文と会い「竹なら京都へ」とのアドバイスを受けます。京都では、「竹なら八幡か嵯峨野がいい」と言われます。そして、八幡男山付近の竹が約2450時間も灯り、見事1位を獲得したのです。これらの地域は、鉄分が豊かな土質のもと、柔軟で堅固な竹を産していたのです。（その頃、日本の東芝もフィラメントの材料を必死で探していたらしいのですが、エジソンが京都産の竹を使ったと聞き、悔しがったそうです。）こうして、八幡の竹は1894年までエジソン電灯会社に輸出され、何百万個の白熱電球が作られ、全世界に明かりを灯しつづけたのです。



エジソンでどんなひと?

エジソンはアメリカ東部に生まれ、幼いころから、好奇心がひといちばい強い子どもだったそうで、わからないことがあると、だれにでも質問ばかりしていたそうです。小学校に入っても、「1たす1はどうして2になるのですか」「リンゴはなぜ赤いのですか」「ABCはなぜあるのですか」とか質問ばかりするので先生に嫌がられ、学校をやめてしまったので勉強は母親が教えていたそうです。

ちなみに、物理、化学の実験は小学校のころから得意だったけれど意外にも数学はいたって苦手であったそうです。12才の時に鉄道の新開張子になり、なんと車内に化学実験室まで作ったそう。

エジソンは白熱電球、蓄音機、映写機なども次々に発明しました。エジソンの膨大な発明品は、それまでの過去の偉人たちが積み上げてきた数々の技術を応用したり、改良したりしてより便利により優れたものにつくり変えてきたものです。よく、エジソンは無から有をつくり出す魔術師と言われていますが、その背景にはそれまでの基礎技術の積み上げがあったのです。

かんたんレシピ

さといも、マヨネーズ炒め

＊材料＊ (3人分)

里芋	10個ほど
たまねぎ	1/2個
にんにく	1かけ
オリーブオイル	大さじ1
マヨネーズ	大さじ1
めんつゆ (なければ醤油)	大さじ1
塩こしょう	少々



- ① 里芋をよく洗い耐熱容器へ入れレンジで柔らかくなるまでチンする。(様子を見ながら3分~5分ほど)指でつまんで柔らかくなっていたら取出して皮をむく。(熱いので気を付けてください)
- ② 里芋を食べやすい大きさに切っておく。
- ③ フライパンにオリーブオイル、スライスしたにんにくを入れ火にかけ、切っておいた玉ねぎ、ベーコンを入れ炒める。
- ④ ③に里芋を入れ炒め、まわりがカリッとなったら塩、こしょう、マヨネーズを入れる。最後にめんつゆ(なければ醤油)を回しかけて完成。

いりどりでネギやパセリを散らすときれいです。



かとけんホーム 施工写真集

9月
10月



自動洗浄トイレ
センサー付き手洗い器
に交換しました。



外壁の塗装をしました

ガス炊飯器
「直火匠」
味に自信あり！



散水融雪設備の点検業務。
今年の冬もがんばります。



お掃除が簡単な換気扇に
交換しました。

散水区間

国道27号融雪設備点検整備業務

区間 (自)京都府舞鶴市吉坂地先
(至)京都府綾部市味方地先

期間 H27 9月9日 ~ H28 3月31日

施工 加藤建設株式会社

国土交通省近畿地方整備局福知山河川国道事務所

四字熟語パズル

四字熟語が4つバラバラになっているので、正しい四字熟語を4つ作ってください。

効	命	日	月
用	果	一	利
厚	生	相	所
乗	懸	歩	新

①

②

③

④

抽選で粗品
プレゼント!!

先月号のこたえ

- ① 一致団結
- ② 永劫回帰
- ③ 一日一生
- ④ 気炎万丈(きえんばんじょう) ↓

意気込みが他を圧倒するほど盛んであること。多くは意気盛んな談論についていう

四字熟語パズル応募方法

①名前 ②住所 ③電話番号④「かとけん通信」の中で興味があった記事、ご意見、ご感想など。⑤四字熟語を4つ①～⑤をご記入の上 FAXかメールにてご応募下さい。
FAX 22-2133 ☒ hirose@kato-const.jp ハガキやお電話でもOKです!

社長よりひとこと

あっという間に一ヶ月が過ぎもう10月で、今月「かとけん通信」の発行となりました。年々胆の経過が早く感じるようになってます！これはそう思うだけでなく科学的に根拠があり、人生経験を積みば積むほど過去に経験したことは次に理解出来知ってると思うことで時間の経過が早く感じるそうです。秋本番になり何をやるにもいい季節で、これから山々の美しい紅葉も楽しめます。秋の味覚で食欲の秋全開になりそうです。そんないい季節なんですから過ぎてから早いなあなんて思わないよう一日一日大切に過ごしましょう。代表取締役 加藤 淳



かとけんホーム

〒620-0042 福知山市北本町二区30-1 加藤建設(株)



ホームページ

社長ブログ

0120-24-1900

かとけんホーム

かも社長

検索

検索

